

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス てらこやキッズクラブ		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士と作業療法士とで協議しながら、その子の発達状況を丁寧に見極め、段階的に目標を設定しています。	本人の出来る範囲で目標を設定し、その子のレベルに合わせた課題に取り組めるようにしている。	課題の種類を色々準備しておく。
2	作業療法士による個別支援を実施し、全体の療育とも連携を取っています。	・作業療法士による個別支援では、集団では出来ない丁寧な支援と、お子さんの更に細かい点に注目した手厚い活動を行っています。 ・全体で協議し必要なご家庭に発達検査を勧め、希望者に対して実施をしています。保護者側に結果報告するだけでなく、その結果からその後の療育に反映するための判断材料としています。	・専門の実施加算の対象となる個別支援を定期的実施する事を継続すると共に、集団支援も在籍しているお子さん全員が定期的に参加出来るようにします。
3	保育園、幼稚園、認定こども園に積極的に情報提供を実施し、相互に見学をする等行っています。	・各園と連携が取りやすいよう、まずは当事業所から連絡を取り、ご家庭と園と当事業所の対応や情報に差が出ないよう、常に情報共有するようにしてます。 ・相互の見学を実施する事で園生活と当事業所での様子を比較し、その実際の様子から今の最良の環境とはどんな物かを話し合っています。	・お子さんの通ってる全園に見学に来所してもらえていないので、もっと積極的にお願いしていきます。 ・入園前に出来る限り情報を提供していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別対応出来ないタイミングもあります。	スタッフの適応能力の向上が大切だと感じます。	取り組む前の研修や教育環境が必要。
2			
3			